



牟中だより 校訓「愛知・自治・敢為」 82名のみんなと保護者の皆様へ

今年は3月6日が二十四節気の「啓蟄」です。「蟄虫啓戸」と書いて、「すごもりむしとをひらく」と読みます。土の中で冬眠していた昆虫たちが、戸(穴)を啓(ひら)いて出てくるという意味です。この日を境に本格的な春が近づいてきます。

さて、学校の風と書く「校風」というものがあります。これはその学校の歴史や伝統からつくられるものです。本校の校風はどんなものでしょうか。私は昨年赴任してからずっととてさわやかな風を感じています。では、その校風は誰がつくってきたのでしょうか。それは生徒のみなさんです。今年は3年生・生徒会役員中心にして全校生徒・教職員でさわやかに温かい校風をつくり出してくれているように思います。みなさんが安心安全に、良い校風の中で充実した学校生活をおくれている様子もうかがえました。学校の歴史や伝統の主役は生徒のみなさんです。3年生はまもなく卒業していきます。先輩のつくった歴史・伝統・校風を今の2年生・1年生が引き継ぎで守り続けて欲しいと思います。

3月5日 朝会の話

人の美しさ

「美しい人だな」誰かにそんな思いを持ったことはありませんか？その美しさとは、一体どこから感じられるものなのでしょう。きれいにお化粧し、着飾っているからでしょうか。「いいえそれは違う」と思うでしょう。一昨年春に、徳島県出身の宝塚歌劇団星組のトップスターでやめられ、今現在徳島市でダンススタジオを運営している瀬戸内美八さんのお話を聞く機会がありました。現在71才になられる方ですが、会場に入ってくると、場の雰囲気が一変したのです。会場が凜とする(引きしめる)と同時に華やかで人を引きつけるというか、私は「美しい」と感じました。何でだろうって思ったのです。彼女は、石井町の出身で附属中、城東高校と進まれた根っからの徳島人です。宝塚歌劇団ですから服装もきらびやかで化粧も濃いです。でも服装や化粧のその美しさではないのです。違うのです。背筋がピントして、堂々としている。本物の美しさを感じました。私は、内からにじみ出てくる美しさなのだと思います。たぶん宝塚に入り、歌や踊りはもとより厳しいあいさつや礼儀を始め様々な訓練を受け、厳しい世界の中で人一倍練習し、素晴らしい舞台作りにつとめてきたからだと思います。彼女はこう言います。「宝塚では、とにかく一人一人が、自分の持ち場を守って真剣に歌い踊り、一生懸命演技すること。そしてみんなを力合わせることの大切さを学んだ。」と。彼女の生き方や人間性が彼女を輝かせているんだと感じました。そして今現在も、徳島の人たちを踊りで元気にすると意気込んでおられました。生き生きと生きている。そこに人の美しさのヒントがあるように思います。

「美しい人を作る」という本の中に生き生きと生きるためにまず、「姿勢を正す」、そしてしっかり「呼吸」をする。それにより心の持ち方に繋がってくると、そして生き方に密接に関わってくると。背筋が曲がって前屈みになった姿勢でいると、胸が圧迫されて呼吸も浅いものになります。緊張しているときがまさにそれです。気持ちも焦っておどおどします。日常的にそんな状態だったら前向きの気持ちになれるのでしょうか。ライザップのCMを見ているとよくわかります。

みなさんも普段なおざりになっている姿勢や呼吸に気をつけ、にじみでる美しさ・本物の美しさに向かって、しっかり学習したくさんの知識と技能を蓄えていきましょう。

「輝ける人」になるために、着実な一歩を踏み出していきましょう。

「今月の行事」

- 3月6日(火)・7日(水) 公立高校入学検査
 いよいよ3年生は進路獲得めざして、今まで蓄えてきた全てをだしてきてください。
- 9日(金) 第71回牟岐中学校卒業式
 1・2年生は、大きな歌声で卒業式をすばらしい式に！！
- 16日(金)
 1年生 ふるさと学習で五剣山
 2年生 防災ウォークラリー



町避難訓練が2月25日に実施

6年生の呼びかけで、中1・2年生も共に避難訓練に地域の方が少しでも多く集まるよう、行動しました。

